

N（なかま） T（たのしく） K（きょうりょく） O（おうえん）

学校長 梅田 比奈子

いよいよ、スポーツフェスティバルが迫ってきました。瀬小のスポーツフェスティバルには、他の学校にない特色があります。それは、他学年と一緒に演技や競技を行うということと、学年全体で心ひとつにがんばるということです。なかま種目では、6年生を中心に、作戦を考えたり、練習を積み重ねたりし、それぞれの色が勝つためにがんばりました。時には、うまくいかないこともあったと思いますが、心を通わせながら、協力して取り組んでいました。高学年がやさしく低学年に教える様子、それに応えて一生懸命に取り組む姿は、瀬小の自慢のひとつです。そして、演技。2年生は1年生に。4年生は3年生に。そして、6年生は5年生に。それぞれ、ていねいに演技を教えてきました。今年度、6年生が最初にソーラン節を教える時、6年生はその意気込みを5年生に伝えました。最高の演技を行いたいという思いがその言葉からあふれており、そして、その言葉と思いをしっかりと受けとめる5年生の姿がありました。その後、休み時間や放課後にも自主的に練習を行う姿が見られました。



このような姿は、高学年に限った事ではありません。どの学年も自分から進んで、練習に取り組んでいるのです。これは、子ども同士のつながりと共に、「自分たちでつくる」「自分がんばる」「一生懸命やりたい」という主体的な思いがあるからこそその行動だと思います。子どもたち一人ひとりが主人公であり、子ども同士がつながっていくスポーツフェスティバル。子どもたちが考えたテーマの最初に「なかま」という言葉がくるものうなずけます。

子どもたちの当日の姿は、今までの練習の積み重ねです。その中で、子どもたちは、自分のすべきことを考え、たくさん人とかわかり、意識を高めてきました。それは、演技、競技に限った事ではありません。応援団はじめ、様々な係での準備もがんばっていました。きっと、当日も、キビキビと動き、自分から進んで取り組んでいく姿をみせてくれることと思います。そして、子どもたちがやりきった、がんばったという一日になるように、私たちも応援していきます。



スポーツフェスティバル当日は、地域の方々の方々の大きな支えもあります。学援隊、スポーツ推進委員、青少年指導員の皆様には、様々な場面で活躍していただきます。そして、地域交流室やPTA役員の皆様にも、事前の準備からお力を貸していただきました。心より感謝申し上げます。

さあ、後はお天気だけです。瀬ヶ崎っ子パワーで、素晴らしいスポーツフェスティバルにしていきたいと思います。

スポーツフェスティバルが延期の場合は、6:15にメール配信するとともに、ホームページでもお知らせします。